おのみちがん登録ネット NO.13

2025 年 3 月

JA 尾道総合病院　病院長：田中 信治
副院長・キャンサーボード運営会議長：花田 敬士
診療情報管理科　がん登録室

今回のテーマは **膀胱がん** です。

【“膀胱がん” における 院内がん登録ルール 】

UICC TNM 分類［第 8 版］“膀胱”での病期分類適応対象は癌腫（Carcinoma）です。

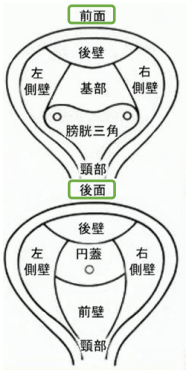
※ 膀胱の浸潤性尿路上皮癌は、生涯で 1 度のみ登録。

※ 一度上皮内腫瘍が発生した患者では、後に発生した上皮内腫瘍は再発腫瘍として扱う。

◆ 局在コード

ICD-O-3 の膀胱の局在コードは、C67 で亜分類は下の表のとなります。

ICD-O 局在	取扱い規約	診療情報所見
C67.0	三角部	三角
C67.1	頂部	円蓋
C67.2	側壁	側壁
C67.3	前壁	前壁
C67.4	後壁	後壁
C67.5	膀胱頚部	頚部
C67.5		内尿道口
C67.6		尿管口
C67.7		尿膜管
C67.8		境界部病巣
C67.9		膀胱壁、NOS
C67.9		上記部位の記載が全くなく“膀胱”の記載のみのもの



複数部位に腫瘍がある場合は、がん登録ルールとして次の様な決まり事があります

①複数部位で違う進行度の癌がみられた時
⇒ 最も進行している部位の局在コードを付与

②複数部位で同じ進行度の癌がみられた時
⇒ C67.9 の局在コードを付与

①②共に「原発部位(テキスト)」に全ての部位を列記する

◆ 形態コード（病理組織型）

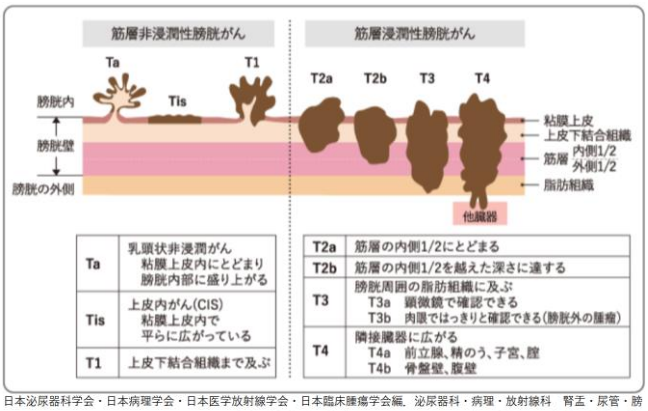
膀胱がんの大部分は、膀胱の内部を覆う尿路上皮にできる尿路上皮癌です。

中でも非浸潤性尿路上皮癌は下記の様に分類されています。

病理組織	形態コード	T 分類	進展度	Stage-病期
非浸潤性乳頭状尿路上皮癌	8130/2_	Ta	上皮内	0a
尿路上皮内癌	8120/2_	Tis	上皮内	0is

◆ T 分類

がん登録では、2018 年症例から TUR-Bt 施行症例の T 分類決定に関して独自ルールがあります。



日本泌尿器科学会・日本病理学会・日本医学放射線学会・日本臨床腫瘍学会編．泌尿器科・病理・放射線科　腎盂・尿管・膀胱癌取扱い規約　第2版．p12,47．2021年．医学図書出版．を参考に作成・改変

出典：国立がん研究センターがん情報サービス 膀胱がん 治療

《TUR-Bt 症例の T 分類の決定について》

1） pTは、膀胱全摘･膀胱亜全摘、あるいはTUR-Btで「Ta」病変が全摘されたときのみ付ける。

2） 臨床医がTUR-Btに記載されているpTより、小さいcTを記載している場合、TUR-BtのpTをcTにする。

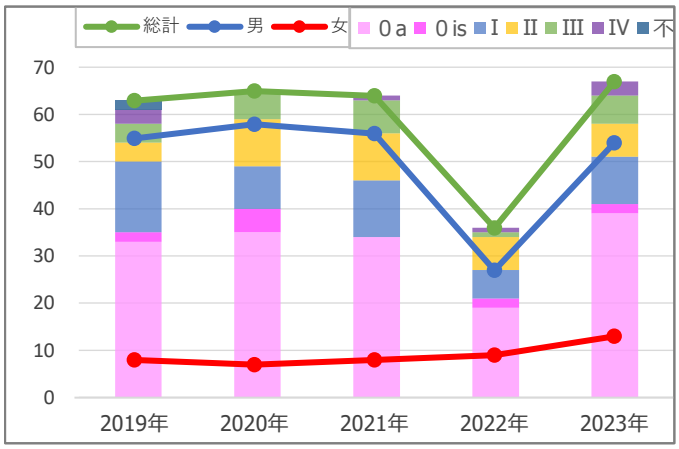
3） 臨床医がTUR-Btに記載されているpTより、大きいcTを記載している場合、そのcTを採用する。

4） 臨床医がcTを記載していない場合、総合的に判断して cTを付ける。

※ **2)~4)の時のpT は、「pTX」とする。**

出典：国立がん研究センターがん情報サービス 院内がん登録 部位別テキスト

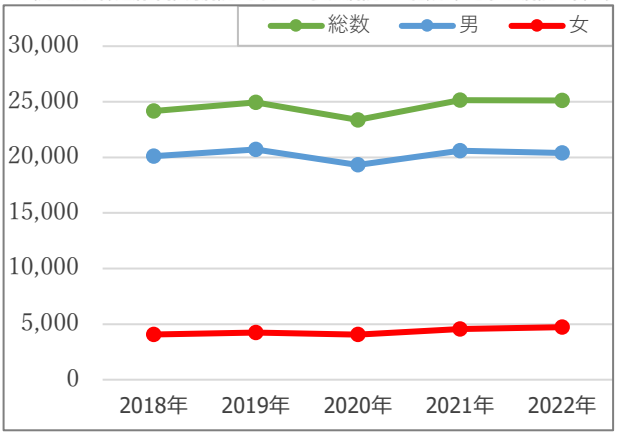
◆当院の膀胱がん登録件数 と ステージ別 登録件数



折れ線グラフは性別の登録件数 、棒グラフはステージ別の登録件数

◆全国集計：がん診療連携拠点病院等における 膀胱がんの全登録数

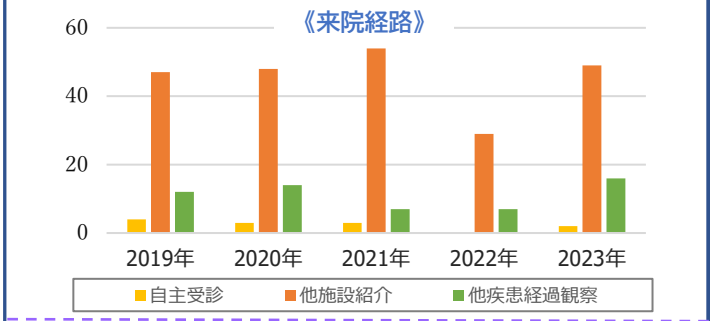
（男女別、都道府県推薦病院、小児がん拠点病院 6 施設、任意参加病院を含む）

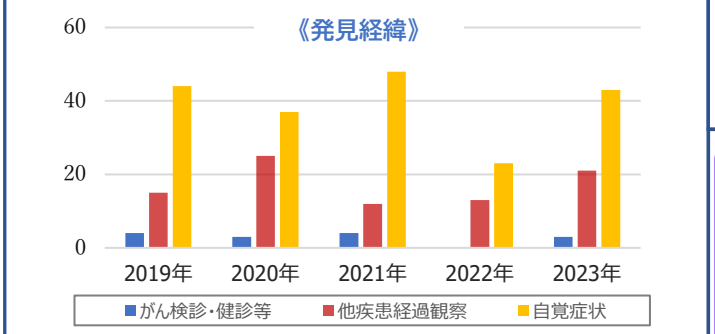


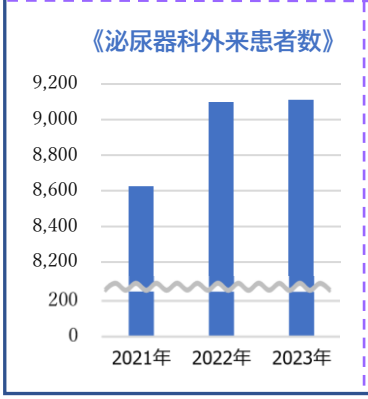
出典　国立がん研究センターがん情報サービス「院内がん登録全国集計」

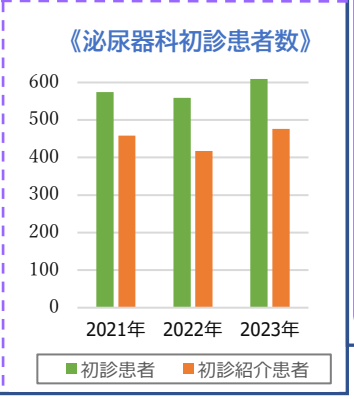
上のグラフは、当院と全国の膀胱がんの登録件数の推移です。院内がん登録では多重癌ルールがあり、特に膀胱がんでは「膀胱の浸潤性尿路上皮癌は、生涯で 1 度のみ登録」「一度上皮内腫瘍が発生した患者では、後に発生した上皮内腫瘍は再発腫瘍として扱う」と言う他の癌にはない登録ルールがあります。そして、一度浸潤癌が登録されている方に上皮内癌が再発しても上皮内癌は登録しません。全国集計の膀胱がん患者の男女比率をみると、男性が女性の約 4 倍と、男性の罹患率が高いです。膀胱がんの最大の危険因子は喫煙で、男性のほうが喫煙者が多いことが関係していると考えられています。当院でも男性の登録件数が多いですが、2022 年に登録件数の減少がみられています。

◆当院　膀胱がん　登録情報より

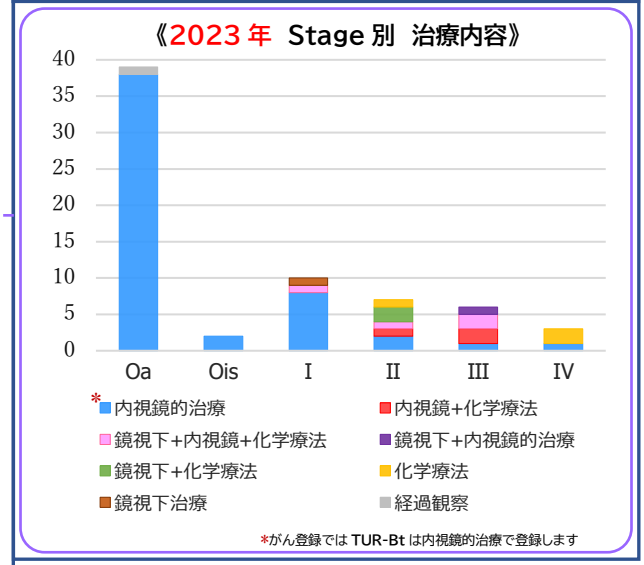








左のグラフにて、2022 年と他年を比較してみました。2022 年の《来院経路》の「自主受診」と《発見経緯》の「がん検診・検診等」で受診された方は 0 件であり、《来院経路》の「他施設紹介」も少ないという結果でした。外来患者数を見てみると《泌尿器科外来患者数》は 2021 年より増加していましたが、《泌尿器科初診患者数》は減少していました。はっきりとした原因は不明ですが、膀胱がんは多重癌ルールにより、初診患者数の影響を受ける可能性が高いことや 2022 年は新型コロナウィルス感染症 第 6～8 波があり、尾道市の感染者数が大きく増加した年であった為、新型コロナウィルス感染症の影響も考えられました。



次回は“皮膚がん”についてです。

【お問い合せ先】　JA 尾道総合病院　診療情報管理科 がん登録室 ： 平藤・多田
TEL : 0848-22-8111（代表）　　FAX : 0848-23-3214